科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 3 年 6 月 2 3 日現在

機関番号: 32406

研究種目: 基盤研究(B)(一般)

研究期間: 2017~2019

課題番号: 17H02493

研究課題名(和文)「ASEAN共同体」の拡大と深化-地域機構の展開とEU危機への新たな視座

研究課題名(英文)The Expansion and Deepening of 'ASEAN Community': New Perspectives on the Development of Regional Organizations and the EU Crisis

研究代表者

金子 芳樹 (Kaneko, Yoshiki)

獨協大学・外国語学部・教授

研究者番号:40233895

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 13,000,000円

研究成果の概要(和文): 本研究では、ASEANがこれまでに積み上げてきた統合と地域秩序形成の実績を再検討し、さらにASEANとその加盟国が2010年代に急速に進んだ中国の台頭や米中対立といった地政学的な変化にいかに対応してきたかを、地域機構として同様に変化への対応を迫られているEUとの比較も含めて、多面的に検証した。特に、(1)国際情勢の変化とASEANの対応、(2)地域横断的イシューの展開、(3)域内各国の政治・経済・社会変動、という「国際・地域・国内」の3次元から多層的に捉え、各次元においてASEANとその加盟国が直面している問題とそれらへの対応過程で起きている変化を明らかにした。

研究成果の学術的意義や社会的意義

研究成果の子術的思義や社会的思義 本研究の学術的な意義は、国際関係論と東南アジア地域研究との連携の下に、国際関係の変容と国内の政治・経済・社会変動のダイナミズムを立体的に描き、急速に進む中国の台頭や米中対立がASEANとその加盟国に及ぼす影響の実態を明らかにするとともに、それらを基に日本の対ASEAN外交の将来に向けた視座を提供することにある。社会的意義としては、日本の東南アジア研究を質量ともにさらに充実させ、その成果を広く一般に公開して社会に還元すると同時に、国内外の研究者や研究機関との協力・連携の進展を図る点にある。

研究成果の概要(英文): This research project examined ASEAN's achievements in integration and regional order formation, and found how ASEAN and its member countries have responded to geopolitical changes such as the rapid rise of China and the confrontation between the United States and China in the 2010s from multiple perspectives, including a comparison with the EU, which has been in a similar position as a regional organization. The research team took a multilayered view of the three dimensions of international, regional, and domestic issues: (1) changes in the international affairs and ASEAN's responses, (2) development of cross-regional issues, and (3) political, economic and social changes in the countries of the region. In each dimension, it clarified the problems that ASEAN and its member countries have faced in each dimension and the changes that have occurred in the process of responding to them.

研究分野:東南アジア地域研究

キーワード: ASEAN 東南アジア ASEAN共同体 地域統合 地域秩序 中国の台頭 米中対立 EU

「ASEAN 共同体」の拡大と深化 - 地域機構の展開と EU 危機への新たな視座

1.研究開始当初の背景

本研究に携わる研究者は、これまでも ASEAN 分析の共同研究を重ねてきた。科研費補助金による研究プロジェクト「東アジアの地域秩序と ASEAN の課題」(2005~06 年度)、「地域国際環境の変容と ASEAN 型地域主義」(2007~09 年度)では、それらの成果を『アジア地域秩序と ASEAN の挑戦―東アジア共同体をめざして』(2005 年)、『ASEAN 再活性化への課題―東アジア共同体・民主化・平和構築』(2011 年)、『「米中対峙」時代の ASEAN―共同体への深化と対外関与の拡大』(2014 年、いずれも黒柳米司編著、明石書店)として刊行し、また各種学会や公開シンポジウムなどで公表してきた。これらを通して、ASEAN が東南アジア地域の統合と自律的発展を促進して「共同体」の構築を目指すとともに、域外大国に対して協力、対抗、バランシングなどの対応を重ねながら地域秩序形成の役割を果たしてきたことを明らかにした。

しかし、2010 年代半ば以降、アジア太平洋地域では「中国の台頭」や「米中対峙」といった地政学的な展開が急速に進み、ASEAN とその加盟国は新たな対応を迫れるようになった。また、地域機構の先駆である EU も、英国の離脱、加盟国間の経済格差、難民・移民の大量移入などの問題に直面し、かつてない統合の危機に見舞われるようになった。このように国際情勢が大きく変化する中で、ASEAN がアジアの地域機構としてこれまでの機能を維持し、現下の難局を乗り越えられるのか、もしくは EU が危機に直面しているように、ASEAN やその加盟国が大国間の覇権争いに巻き込まれ、統合や自律的発展が危機に瀕するのか、といった点が問われるようになった。このような状況を背景に、上述したこれまでの ASEAN 研究の成果を基にしながら、さらに研究の幅を広げ、他地域との比較研究などを取り入れるとともに、研究者が世代間・国家間の枠を超えていっそう複合的、重層的に検証を進める必要があるとの認識に至った。

2.研究の目的

本研究の目的は、「共同体」構築に向けた ASEAN の「拡大と深化」のプロセスを再検討するとともに、国際情勢の地政学的な変動の中で ASEAN がどのように変化と対応をみせているかを検証することである。 ASEAN は設立当初から多様な加盟国が 'ASEAN Way' を掲げて緩やかな統合を指向し、長年の積み重ねを経て 2015 年には「ASEAN 共同体」を宣言するまでに至った。 しかし、2010 年代を通して中国が国力を急速に高めて東南アジア地域への経済的影響力や政治的圧力を強め、さらに米中両大国の覇権争いが ASEAN 諸国間に亀裂や対立を生み出すようになってきた。

本研究では、ASEAN が積み上げてきた統合の実績を踏まえつつ、ASEAN やその加盟国が国際環境の変化にいかに反応・対応してきたのかを、同じく統合の危機に瀕する EU の去就をも視野に入れながら多面的に検証する。その際に3つの次元、つまり、(1)国際情勢の変化と ASEAN

の対応、(2)地域横断的イシューの展開、(3)域内各国の政治・経済・社会変動、という「国際 地域 国内」の3次元から捉える。3次元の相関に着目しながら東南アジア地域の実態と変化の過程をできるだけ立体的に把握すると同時に、日本の対 ASEAN 外交の将来に向けた視座を提供することも目的とした。また、研究者ネットワークの拡大、社会に向けた研究成果の公開、若手研究者の育成といった副次的効果も考慮しながら進めた。

3.研究の方法

本研究プロジェクトでは、「国際 地域 国内」の3つの次元を基本として3つの研究グループを構成し、グループごとのリサーチ・分析および各グループ間の連携による複合的な実証分析を行った。具体的なリサーチ・分析の方法としては、(1)東南アジア諸国、中国、アメリカなど現地における聞き取り調査、(2)一次資料、二次資料の収集および分析、(3)定期的な研究会、国内外の学会などでの研究報告、討論、フィードバック、(4)本研究プロジェクト独自のHPの開設、一般市民向け公開シンポジウムの開催などによる社会に向けた研究成果の公表、などを中心に行った。

4. 研究成果

研究目的に挙げた3つの次元について、それぞれ以下のような研究成果を得ることができた。 (1) 国際情勢の変化と ASEAN の対応については、まず中国の高度経済発展により ASEAN 諸国の貿易・投資をはじめとする対中経済依存度が急速に上昇し、2000 年代後半までの日米中心の対外経済関係が 10 年ほどで中国中心へと一変したことの影響の大きさが確認できた。元来、貿易や外資に依存する ASEAN 諸国の経済構造において経済面での「中国傾斜」の意味は大きく、それが外交・安全保障面にも波及していった。その典型が南シナ海問題に対する ASEAN の対応といえる。ASEAN は中小国による国家連合として南シナ海問題をはじめ大国との問題の解決に長年結束して対応してきたが、この点でも中国に傾倒または同調する国や政権が増え、地域機構としての結束が揺らぐ側面が増えた。一方、経済・安全保障両面でこの地域に「傘」を提供してきたアメリカは、2017 年にトランプ政権に代わると ASEAN および ASEAN 諸国を軽視する態度が目立った。また、中国の「一帯一路」に対抗する経済戦略を打ち出せず、軍事力を背景とした中国の強引な領有権主張にも有効な対策を講じられなかった。このような状況下でASEAN 諸国は米中両国との間のバランスの取り方に腐心するようになり、両国との距離の置き方や依存度をめぐる国ごとの違いが ASEAN 内に不協和音を生み出し、分断・分裂をもたらすリスクを高めていることが裏付けられた。

(2) 東南アジア地域における地域横断的イシュー、例えば、経済やインフラ面でのコネクティビティ、非伝統的安全保障問題、域内諸国間の経済格差、移民労働者の移動、環境問題などへの取り組みについても重要度が高まっている。この点は、同じく地域機構として EU が抱える問題とも共通する面が多い。本研究プロジェクトでは、初年度に EU を研究対象とする研究者を複数招聘して共同研究会やシンポジウムを開催し、これらの問題分野を中心に ASEAN と EU の比較

研究の形で議論を深めた。ASEAN、EU ともに、原加盟国と後発加盟国との間の経済格差の問題、理念重視の原加盟国と現実的利害重視の後発加盟国との軋轢など共通点が多く、一方、EU の制度的統合と ASEAN の緩やかな統合との間で問題の処理方法やそれらの帰結において相違が大きいことが明確になった。また、イデオロギーや価値観の面で内部の共通性が高い EU に対して、ASEAN は加盟国間での違いや隔たりが大きく、後者においては政治的な問題に対する共同行動が取りにくいことが認識できた。

(3)域内各国の政治・経済・社会変動とそれに与える国際環境の影響については、本研究ではカンボジア、ラオス、ベトナム、ミャンマー、マレーシア、東ティモールを国別に取り上げ、対中関係、とりわけ中国が進める「一帯一路」構想との関係について分析を行った。2013 年に中国の国家主席に就任した習近平の下で打ち出され、広域経済圏構想として具現化の途上にある「一帯一路」において、東南アジア地域は中国に隣接する重要地域として位置付けられており、各国で同構想に沿ったインフラ・プロジェクトが次々と立ち上げられてきた。中国と参加国との間のウィン・ウィンを掲げるプロジェクトとして ASEAN 諸国も積極的な参加姿勢をみせているが、個々に分析すると問題点も浮き彫りになった。「一帯一路」に基づく中国の投資や援助は同国の戦略や国益が反映しやすく、長期的には中国優位の非対称型となり ASEAN 諸国にとって対中従属的な状況を呼び込みやすいことが明らかになった。また、中国の内政不干渉原則の結果、人権や政治体制の面で欧米日の先進国の援助・投資基準から外れる国や、すでに先進国や国際機関から経済制裁を受けている国などにも中国からの投資や援助が流入するため、それらが非民主的な政権や指導者の後ろ盾になる、または非民主化を助長する点も問題として把握できた。

なお、本研究では、成果物として研究分担者・協力者が執筆した学術書『「一帯一路」時代の ASEAN』(明石書店 2020 年 1 月)を刊行した。各執筆者のテーマは以下のとおり。

浅野亮「米中対峙と中国・ASEAN 関係 多国間枠組みによるバランシング」

福田保「米中対峙下におけるアジア太平洋の多国間制度」

平川幸子「『一帯一路』時代の日本外交 リベラルな ASEAN の守り」

黒柳米司「シャープパワー概念と ASEAN」

山田満「アジアにおける非伝統的安全保障協力 ASEAN 主導の『平和』の制度化」

吉野文雄「『一帯一路』と東南アジア経済」

稲田十一「ドナーとしての中国の台頭とそのインパクト カンボジアとラオスの事例」

小笠原高雪「米中対立のなかのベトナム 安全と発展の最適解の模索」

工藤年博「ポスト軍事政権期の中緬関係 『一帯一路』はミャンマーに経済成長をもたらすか」

金子芳樹「マレーシアの中国傾斜と政権交代 『一帯一路』をめぐるジレンマとその克服」

井上浩子「自立した外交を目指して 東ティモールの対中国外交とその意味」

また、アジア政経学会の 2017 年と 2019 年の春季大会において、それぞれ本研究会メンバーによる分科会を開催した。2018 年には、インドネシアのジャカルタで開催された東南アジア日本研究学会(Japanese Studies Association in Southeast Asia)の国際会議に本研究プロジェクトのメンバーが参加し、2つの分科会を主催した(2018年12月5~7日、インドネシア大学)。

5 . 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計32件(うち査読付論文 10件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 1件)

_ 〔雑誌論文〕 計32件(うち査読付論文 10件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 1件)	
1 . 著者名 浅野亮	4 . 巻 Vol.78、No.12
2.論文標題 「一帯一路」の論理と性格ー経済と安全保障の両面から	5 . 発行年 2018年
3.雑誌名 運輸と経済	6.最初と最後の頁 30-38
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名 伊藤 晋	4 . 巻 第10号
2.論文標題 A Study on Dutertenomics: Drastic Policy Shift in PPP Infrastructure Development in the Philippines	5 . 発行年 2019年
3.雑誌名 東洋大学PPP研究センター紀要	6.最初と最後の頁 1-23
 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	 査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名 井上浩子	4 . 巻 2019年版
2.論文標題 2018年のティモール・レステ:解散・総選挙と続く政治的混乱・経済的打撃	5 . 発行年 2019年
3.雑誌名 アジア動向年報2019	6.最初と最後の頁 419-434
 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし	 査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名 井上浩子	4 . 巻 2018年版
2 . 論文標題 2017年のティモール・レステーFRETILIN=民主党政権の発足と野党連合との攻防	5.発行年 2018年
3.雑誌名 アジア動向年報2018	6.最初と最後の頁 418-425
 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし	 査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

4 # # # #	1 4 44
1 . 著者名	4.巻
井上浩子	679号
2 . 論文標題	5.発行年
東ティモールにおける移行期正義の20年	2019年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
国際問題	27-35
	21-33
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4.巻
稲田十一	No.674・675合併号
2 . 論文標題	5.発行年
マー	2019年
丁岡 市 町」 事未の人ソファハのコンハンドとての計画	2013+
2 hh±+47	C 目知1.目後 5.五
3. 雑誌名	6.最初と最後の頁
専修大学社会科学研究所・月報	35-48
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
福田保	Vol. 50
тиим	VOT. 30
2 . 論文標題	5.発行年
······································	
ASEAN・中国「蜜月」の理由 南シナ海領有権をめぐる仲裁判決から 2 年	2018年
	C = 27 = 1/2 = 7
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
外交	92-97
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	国際共著 - 4 . 巻
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 吉野文雄	国際共著 - 4.巻 第67巻、第1・2号
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 吉野文雄 2 . 論文標題	国際共著 - 4.巻 第67巻、第1・2号 5.発行年
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 吉野文雄	国際共著 - 4.巻 第67巻、第1・2号
オープンアクセス	国際共著 - 4 . 巻 第67巻、第1·2号 5 . 発行年 2019年
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 吉野文雄 2 . 論文標題	国際共著 - 4.巻 第67巻、第1・2号 5.発行年
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 吉野文雄 吉野文雄 2 . 論文標題 米中貿易戦争の帰趨を考える 3 . 雑誌名	国際共著 - 4 . 巻 第67巻、第1・2号 5 . 発行年 2019年
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 吉野文雄 2 . 論文標題 米中貿易戦争の帰趨を考える	国際共著 - 4 . 巻 第67巻、第1・2号 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 吉野文雄 吉野文雄 2 . 論文標題 米中貿易戦争の帰趨を考える 3 . 雑誌名	国際共著 - 4 . 巻 第67巻、第1・2号 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 吉野文雄 2 . 論文標題 米中貿易戦争の帰趨を考える 3 . 雑誌名 海外事情(拓殖大学海外事情研究所)	国際共著 - 4 . 巻 第67巻、第1・2号 - 5 . 発行年 2019年 - 6 . 最初と最後の頁 1-14
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 吉野文雄 2 . 論文標題 米中貿易戦争の帰趨を考える 3 . 雑誌名 海外事情(拓殖大学海外事情研究所)	国際共著 - 4 . 巻 第67巻、第1・2号 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1-14
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 吉野文雄 2 . 論文標題 米中貿易戦争の帰趨を考える 3 . 雑誌名 海外事情(拓殖大学海外事情研究所)	国際共著 - 4 . 巻 第67巻、第1・2号 - 5 . 発行年 2019年 - 6 . 最初と最後の頁 1-14
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 吉野文雄 2 . 論文標題 米中貿易戦争の帰趨を考える 3 . 雑誌名 海外事情(拓殖大学海外事情研究所) 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	国際共著 - 4 . 巻 第67巻、第1・2号 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1-14 - 査読の有無 無
オープンアクセス	国際共著 - 4 . 巻 第67巻、第1・2号 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1-14

1.著者名	4 . 巻
吉野文雄	通巻89号
2.論文標題	5.発行年
2. 調火保超 東南アジア経済の成長率循環	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
国際情勢紀要(世界政経調査会国際情 勢研究所)	147-158
当你用力心女(これ以近門且公当你用 カミンロル)	147 - 100
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
吉野文雄	2018年版
2.論文標題	5 . 発行年
米中対峙下の東南アジア	2019年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
年鑑海外事情2018	51-57
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名 阿部和美	4 . 巻 2019年3月号
2.論文標題	5.発行年
民主化時代インドネシアの開発-パプア地域開発における「人間中心の開発アプローチ」の欠落	2019年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
ソシオサイエンス	19-30
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
拘束はmix のDOT (デンタルオフシェクトmixが) テン	自立の行無有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	,
1.著者名 阿部和美	4 . 巻 第5号
2.論文標題	5.発行年
2 · ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
グローバル・ガバナンス	-
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	l <u>-</u>
	国際共著

阿部和美		
2. 納文標題 インドネシア・バブア問題におけるメラネシア地域の役割 メラネシア・スピアヘッド・グループのメン バーシップ問題をめてって 3. 制証名 グローバル・ガバナンス 調報論文のDOI(デジタルオブジェクト調別子) ない オープンアクセス オープンアクセス 1. 著者名 浅野奈 2. 納文標題 第7277地域校所の変容: 現状とそのメカニズム 3. 制証名 同応社法学 6. 最初と最後の頁 66-83 編載論文のDOI(デジタルオブジェクト調別子) ない オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 オープンアクセス オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 北陸国家体制と国際安全保障 5. 飛行年 2017年 3. 雑誌名 第2 本地国家体制と国際安全保障 2. 納文標題 末地国家体制と国際安全保障 2. 新文標題 末地国家体制と国際安全保障 2. 新文標題 末地国家体制と国際安全保障 2. 新文標題 末地国家体制と国際安全保障 2. 新文標題 表地国家体制と国際安全保障 2. 新文標題 表地国家体制と国際安全保障 2. 新文標題 表地国家体制と国際安全保障 2. 新文標題 表地国家体制と国際安全保障 2. 新文標題 表地国家体制と関帯安全保障 2. 新文標題 表地区最後の頁 1.20 国際共著 2. 新文標題	1.著者名	4 . 巻
インドネシア・バブア附続におけるメラネシア地域の役割 メラネシア・スピアヘッド・グルーブのメン パーシップ削離をあぐって	阿部和美	第5号
インドネシア・バブア附続におけるメラネシア地域の役割 メラネシア・スピアヘッド・グルーブのメン パーシップ削離をあぐって		
インドネシア・バブア附続におけるメラネシア地域の役割 メラネシア・スピアヘッド・グルーブのメン パーシップ削離をあぐって	2.論文標題	5 . 発行年
バーシップ問題をめぐって 3. 納詰名 5. 最初と最後の頁		
3. 新誌名 グローバル・ガバナンス 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス 1. 著書名 浅野秀 2. 論文標題 東アジア地域秩序の変容:現状とそのメカニズム 3. 削試名 同応社法学 指動論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著書名 小笠原高雪 2. 論文標題 第一 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープシアクセスが困難 1. 著書名 小笠原高雪 2. 論文標題 2. 論文標題 5. 飛行年 2017年 2017年 3. 制誌名 加密反義 6. 是初と最後の頁 65・83 1. 著書名 1. 差書名 1. 20 1. 20 1. 20 1. 20 1. 20 1. 20 1. 20 1. 20 1. 20 1. 20 1. 20 2. 第文標題		20194
万つ		c = 40 = 7
指数論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)		6.最初と最後の負
なし 有 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 ※著名	グローバル・ガバナンス	-
なし 有 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 ※著名		
なし 有 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 ※著名		
なし 有 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 ※著名	「掲載絵文のDOL(デジタルオブジェクト辨別ス)	本誌の右無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 2 .		
1 著名名 2	なし	有
1 著名名 2		
1 ・著名名	オープンアクセス	国際共著
1 ・著名名	オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが闲難	_
浅野秀 69年号 2 . 論女標題 東アジア地域秩序の変容:現状とそのメカニズム 5 . 発行年 2017年 3 . 雑誌名 市成し 6 . 最初と最後の頁 65:-83 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 国際共著 - 1 . 著者名 小笠原高雪 4 . 巻 4:582号 2 . 論女標題 主権国家体制と国際安全保障 5 . 発行年 2017年 3 . 雑誌名 国際安全保障 6 . 最初と最後の頁 1-20 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 無 1 . 著者名 金子芳樹 4 . 巻 No.603 2 . 論女標題 ASEAN論設50年 - その成果と米中対峙新時代の「中国傾斜」 5 . 発行年 2017年 3 . 雑誌名 東亜 6 . 最初と最後の頁 (10:19) 日際共著 6 . 最初と最後の頁 (10:19) 現職 オープンアクセス 国際共著	TO DESCRIPTION OF THE PARTY OF	
浅野秀 69年号 2 . 論女標題 東アジア地域秩序の変容:現状とそのメカニズム 5 . 発行年 2017年 3 . 雑誌名 市成し 6 . 最初と最後の頁 65:-83 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 国際共著 - 1 . 著者名 小笠原高雪 4 . 巻 4:582号 2 . 論女標題 主権国家体制と国際安全保障 5 . 発行年 2017年 3 . 雑誌名 国際安全保障 6 . 最初と最後の頁 1-20 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 無 1 . 著者名 金子芳樹 4 . 巻 No.603 2 . 論女標題 ASEAN論設50年 - その成果と米中対峙新時代の「中国傾斜」 5 . 発行年 2017年 3 . 雑誌名 東亜 6 . 最初と最後の頁 (10:19) 日際共著 6 . 最初と最後の頁 (10:19) 現職 オープンアクセス 国際共著	4 *************************************	A 244
2		_
東アジア地域秩序の変容: 現状とそのメカニズム 2017年 3 . 雑誌名 同志社法学 6 . 最初と最後の頁 65-83 掲載論文のDDI (デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 無	浅野亮	69巻4号
東アジア地域秩序の変容: 現状とそのメカニズム 2017年 3 . 雑誌名 同志社法学 6 . 最初と最後の頁 65-83 掲載論文のDDI (デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 無		
東アジア地域秩序の変容: 現状とそのメカニズム 2017年 3 . 雑誌名 同志社法学 6 . 最初と最後の頁 65-83 掲載論文のDDI (デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 無	2 論文標題	5 . 発行年
3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁 65-83 日表談の有照 2 . 競の有照 2 . 競の有照 2 . 競の標題 2 . 記述の有照 2 . 記述の有照 2 . 記述の相談との意と保障 5 . 発行年 2017年 3 . 雑誌名 1 . 著者名 4 . 差 3 . 社誌名 5 . 是行をはない、又はオープンアクセスが困難 5 . 発行年 2017年 3 . 雑誌名 5 . 是がの有照 5 . 是がの有照 2 . 記述の相談を介証のが、文はオープンアクセスが困難 5 . 是がの有照 5 . 是がの表に対しい。又はオープンアクセスが困難 5 . 是がの表に対しい。又はオープンアクセスが困難 5 . 是がの表に対しい。というにはない。又はオープンアクセスが困難 5 . 是がの表に対しい。というにはない。又はオープンアクセスが困難 5 . 是がの表に対しい。というにはない。又はオープンアクセスが困難 5 . 是がの表に対しい。というにはない。又はオープンアクセスが困難 5 . 是がの表に対しい。というにはない。これが表に対しい。というにはない。これが表に対しい。というにはない。これが表に対してはないではない。これが表に対してはないではないではないではないではないではないではないではないではないではないで		
同志社法学	米アンア・地域代別役台・現仏とて切入月―人口	2017年
同志社法学		
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 小笠原高雪 2. 論文標題 主権国家体制と国際安全保障 3. 雑誌名 国際安全保障 6. 最初と最後の頁 1-20 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 無 オープンアクセス 国際共著 1. 著者名 金子芳樹 2. 論文標題 ASEAN劇談50年 - その成果と米中対峙新時代の「中国傾斜」 3. 雑誌名 東亜 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし おープンアクセスが困難 6. 最初と最後の頁 10-19 最新論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なが、603 2. 論文標題 ASEAN劇談50年 - その成果と米中対峙新時代の「中国傾斜」 3. 雑誌名 東亜 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス	3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 小笠原高雪 2. 論文標題 主権国家体制と国際安全保障 3. 雑誌名 国際安全保障 6. 最初と最後の頁 1-20 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 無 オープンアクセス 国際共著 1. 著者名 金子芳樹 2. 論文標題 ASEAN劇談50年 - その成果と米中対峙新時代の「中国傾斜」 3. 雑誌名 東亜 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし おープンアクセスが困難 6. 最初と最後の頁 10-19 最新論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なが、603 2. 論文標題 ASEAN劇談50年 - その成果と米中対峙新時代の「中国傾斜」 3. 雑誌名 東亜 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス	同志社法学	65-83
### オープンアクセス 国際共著		
### オープンアクセス 国際共著		
### オープンアクセス 国際共著	世帯会立のDOI / ごごカリナブジェカト部のフト	本芸の方無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 小笠原高雪 4 . 巻 45巻2号 5 . 発行年 主権国家体制と国際安全保障 5 . 発行年 2017年 3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁 1-20 重読の有無 無 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 4 . 巻 № . 603 2 . 論文標題 5 . 発行年 2017年 3 . 雑誌名 1 . 著者名 6 . 量初と最後の頁 1 . 20 重読の有無 無 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 5 . 発行年 2017年 3 . 雑誌名 東亜 5 . 発行年 2017年 3 . 雑誌名 東亜 5 . 発行年 2017年 3 . 雑誌名 東亜 5 . 発行年 2017年 5 . 発行年 2017年 5 . 発行年 2017年 5 . 建設・保護 6 . 量初と最後の頁 10-19 重読の有無 無 オープンアクセス 国際共著		
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 小笠原高雪 4 . 巻 45巻2号 2 . 論文標題 主権国家体制と国際安全保障 5 . 発行年 2017年 3 . 雑誌名 国際安全保障 6 . 最初と最後の頁 1-20 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし 面際共著 - 1 . 著者名 金子芳樹 4 . 巻 No.603 2 . 論文標題 ASEAN創設50年 - その成果と米中対峙新時代の「中国傾斜」 5 . 発行年 2017年 3 . 雑誌名 東亜 6 . 最初と最後の頁 10-19 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	なし	無
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 小笠原高雪 4 . 巻 45巻2号 2 . 論文標題 主権国家体制と国際安全保障 5 . 発行年 2017年 3 . 雑誌名 国際安全保障 6 . 最初と最後の頁 1-20 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし 面際共著 - 1 . 著者名 金子芳樹 4 . 巻 No.603 2 . 論文標題 ASEAN創設50年 - その成果と米中対峙新時代の「中国傾斜」 5 . 発行年 2017年 3 . 雑誌名 東亜 6 . 最初と最後の頁 10-19 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著		
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 小笠原高雪 4 . 巻 45巻2号 2 . 論文標題 主権国家体制と国際安全保障 5 . 発行年 2017年 3 . 雑誌名 国際安全保障 6 . 最初と最後の頁 1-20 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし 面際共著 - 1 . 著者名 金子芳樹 4 . 巻 No.603 2 . 論文標題 ASEAN創設50年 - その成果と米中対峙新時代の「中国傾斜」 5 . 発行年 2017年 3 . 雑誌名 東亜 6 . 最初と最後の頁 10-19 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	オープンアクセス	国際共著
1. 著者名 小笠原高雪 4. 巻 45巻2号 2. 論文標題 主権国家体制と国際安全保障 5. 発行年 2017年 3. 雑誌名 国際安全保障 6. 最初と最後の頁 1-20 掲載論文のD01 (デジタルオブジェクト識別子) なし オーブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 国際共著 - 1. 著者名 金子芳樹 2. 論文標題 ASEAN創設50年 - その成果と米中対峙新時代の「中国傾斜」 5. 発行年 2017年 3. 雑誌名 東亜 6. 最初と最後の頁 10-19 掲載論文のD01 (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オーブンアクセス 国際共著	· · · · · · =· ·	
小笠原高雪 45巻2号 2 . 論文標題 主権国家体制と国際安全保障 5 . 発行年 2017年 3 . 雑誌名 国際安全保障 6 . 最初と最後の頁 1-20 掲載論文のD01 (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オーブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 - 1 . 著者名 金子芳樹 4 . 巻 No.603 2 . 論文標題 ASEAN創設50年 - その成果と米中対峙新時代の「中国傾斜」 5 . 発行年 2017年 3 . 雑誌名 東亜 6 . 最初と最後の頁 10-19 掲載論文のD01 (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	コープファイ ころ こはらない 人はコープファイ ころい 凹窓	_
小笠原高雪 45巻2号 2 . 論文標題 主権国家体制と国際安全保障 5 . 発行年 2017年 3 . 雑誌名 国際安全保障 6 . 最初と最後の頁 1-20 掲載論文のD01 (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オーブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 - 1 . 著者名 金子芳樹 4 . 巻 No.603 2 . 論文標題 ASEAN創設50年 - その成果と米中対峙新時代の「中国傾斜」 5 . 発行年 2017年 3 . 雑誌名 東亜 6 . 最初と最後の頁 10-19 掲載論文のD01 (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	4 524	1 4 22
2 . 論文標題 主権国家体制と国際安全保障 5 . 発行年 2017年 3 . 雑誌名 国際安全保障 6 . 最初と最後の頁 1-20 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 無 オープンアクセス 金子芳樹 国際共著 - 1 . 著書名 金子芳樹 4 . 巻 No.603 2 . 論文標題 ASEAN創設50年 - その成果と米中対峙新時代の「中国傾斜」 5 . 発行年 2017年 3 . 雑誌名 東亜 6 . 最初と最後の頁 10-19 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 無 オープンアクセス 国際共著		
主権国家体制と国際安全保障 2017年 3 . 雑誌名 国際安全保障 6 . 最初と最後の頁 1-20 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著 - 1 . 著者名 金子芳樹 4 . 巻 No. 603 2 . 論文標題 ASEAN創設50年 - その成果と米中対峙新時代の「中国傾斜」 5 . 発行年 2017年 3 . 雑誌名 東亜 6 . 最初と最後の頁 10-19 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	小笠原高雪	45巻2号
主権国家体制と国際安全保障 2017年 3 . 雑誌名 国際安全保障 6 . 最初と最後の頁 1-20 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著 - 1 . 著者名 金子芳樹 4 . 巻 No. 603 2 . 論文標題 ASEAN創設50年 - その成果と米中対峙新時代の「中国傾斜」 5 . 発行年 2017年 3 . 雑誌名 東亜 6 . 最初と最後の頁 10-19 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著		
主権国家体制と国際安全保障 2017年 3 . 雑誌名 国際安全保障 6 . 最初と最後の頁 1-20 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著 - 1 . 著者名 金子芳樹 4 . 巻 No. 603 2 . 論文標題 ASEAN創設50年 - その成果と米中対峙新時代の「中国傾斜」 5 . 発行年 2017年 3 . 雑誌名 東亜 6 . 最初と最後の頁 10-19 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	2 . 論文標題	5 . 発行年
3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁 国際安全保障 1-20 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 なし 無 オープンアクセス 国際共著 1 . 著者名 4 . 巻 金子芳樹 4 . 巻 No.603 5 . 発行年 2 . 論文標題 5 . 発行年 ASEAN創設50年 - その成果と米中対峙新時代の「中国傾斜」 5 . 発行年 3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁 東亜 10-19 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 なし 無 オープンアクセス 国際共著		
国際安全保障 1-20 査読の有知	工作四水仲间已回际头主体焊	2017-
国際安全保障 1-20 査読の有知	0. 1824-67	C = 11 - 2 / 2 / 2
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)		
# 日際共著 コープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 日際共著 - 1 . 著者名 金子芳樹 4 . 巻 No. 603	国際安全保障	1-20
# 日際共著 コープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 日際共著 - 1 . 著者名 金子芳樹 4 . 巻 No. 603		
# 日際共著 コープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 日際共著 - 1 . 著者名 金子芳樹 4 . 巻 No. 603		
# 日際共著 コープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 日際共著 - 1 . 著者名 金子芳樹 4 . 巻 No. 603	児耕絵文のDOL(デジタルオブジェクト禁団Z)	本芸の右無
オープンアクセス		
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 金子芳樹 4 . 巻 No.603 2 . 論文標題 ASEAN創設50年 - その成果と米中対峙新時代の「中国傾斜」 5 . 発行年 2017年 3 . 雑誌名 東亜 6 . 最初と最後の頁 10-19 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	なし	<u>#</u>
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 金子芳樹 4 . 巻 No.603 2 . 論文標題 ASEAN創設50年 - その成果と米中対峙新時代の「中国傾斜」 5 . 発行年 2017年 3 . 雑誌名 東亜 6 . 最初と最後の頁 10-19 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 無 オープンアクセス 国際共著		
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 金子芳樹 4 . 巻 No.603 2 . 論文標題 ASEAN創設50年 - その成果と米中対峙新時代の「中国傾斜」 5 . 発行年 2017年 3 . 雑誌名 東亜 6 . 最初と最後の頁 10-19 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	オープンアクセス	国際共著
1 . 著者名 金子芳樹 4 . 巻 No.603 2 . 論文標題 ASEAN創設50年 - その成果と米中対峙新時代の「中国傾斜」 5 . 発行年 2017年 3 . 雑誌名 東亜 6 . 最初と最後の頁 10-19 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	_
金子芳樹No.6032.論文標題 ASEAN創設50年 - その成果と米中対峙新時代の「中国傾斜」5.発行年 2017年3.雑誌名 東亜6.最初と最後の頁 10-19掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス国際共著		
金子芳樹No.6032.論文標題 ASEAN創設50年 - その成果と米中対峙新時代の「中国傾斜」5.発行年 2017年3.雑誌名 東亜6.最初と最後の頁 10-19掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス国際共著	1 \$20	1 4 *
2.論文標題 ASEAN創設50年 - その成果と米中対峙新時代の「中国傾斜」5.発行年 2017年3.雑誌名 東亜6.最初と最後の頁 10-19掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス国際共著		
ASEAN創設50年 - その成果と米中対峙新時代の「中国傾斜」 2017年 3.雑誌名東亜 6.最初と最後の頁10-19 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無無 オープンアクセス 国際共著	金子芳樹	No.603
ASEAN創設50年 - その成果と米中対峙新時代の「中国傾斜」 2017年 3.雑誌名東亜 6.最初と最後の頁10-19 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無無 オープンアクセス 国際共著		
ASEAN創設50年 - その成果と米中対峙新時代の「中国傾斜」 2017年 3.雑誌名東亜 6.最初と最後の頁10-19 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無無 オープンアクセス 国際共著	2 . 論文標題	5 . 発行年
3.雑誌名 6.最初と最後の頁 東亜 10-19 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 なし 無 オープンアクセス 国際共著		
東亜 10-19 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 なし 無 オープンアクセス 国際共著		2017-
東亜 10-19 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 なし 無 オープンアクセス 国際共著	3 hbt-t-d7	C 目初し日本本王
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)		
なし 無 オープンアクセス 国際共著	東亜	10-19
なし 無 オープンアクセス 国際共著		
なし 無 オープンアクセス 国際共著		
なし 無 オープンアクセス 国際共著	掲載論文のDOL(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
オープンアクセス 国際共著		
	み し	無
	オーブンアクセス	国際共著
The state of the s		į l
	オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが闲難	-

1.著者名	4.巻
平川幸子	46巻3号
2.論文標題	5.発行年
アジア太平洋のリベラルな地域秩序 - ASEANと台湾に光を	2017年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
問題と研究(台湾国立政治大学国際関係研究センター)	33-63
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
	Solve III att
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	4 . 巻
平川幸子	30号
2 . 論文標題	5.発行年
中国のエネルギー政策と地域主義外交 - 「一帯一路」のモデルとしての中央アジア	2017年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
アジア太平洋討究	89 - 101
	03 - 101
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国际六省
1 . 著者名	4 . 巻
平川幸子	39
2	r 28/=/=
2.論文標題 Reviewing the Twenty Years of Japan's 'Human Security': From Elusive Theory to Sharp	5 . 発行年 2020年
Practice	2020-
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
アジア太平洋討究	93-104
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	直読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1. 著者名	4 . 巻
・ ・	4 . 술 May/June 2019
17013	,. 20.0
2.論文標題	5 . 発行年
Asia's Role in Global Governance	2019年
ጋ ስዙ ÷ ተ ላ7	C 早知し早後の五
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Japan Spotlight	51-52
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国际共者
カーノファッヒム Clads v、 大はオーノファッヒ人が凶無	-

1 . 著者名	4 . 巻
山田、満	869号
0 *\-_	5 3V/= F
2. 論文標題	5.発行年
難民問題の歴史・現状と展望	2017年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
歷史地理教育	4-11
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
	31号
Ц — л	019
2.論文標題	5.発行年
東ティモールの新たな政治課題	2017年
3 1454 A	C = 271 = 1/2 = 7
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
アジア太平洋討究	139-151
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	-
1.著者名	4 . 巻
阿部和美(研究協力者)	29号
	20-3
2.論文標題	5.発行年
11.4集会に見るインドネシアのマイノリティ問題	2017年
11.4条云に元も1.21でインチのマコンジナイ同庭	2017—
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
社学研論集	14-26
日共会立のDOL / ごごんリナゴご - 万 禁助フン	 査読の有無
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	省绩(/)有册
なし	
	無無
	無
オープンアクセス	
	無
オープンアクセス	無
オープンアクセス	無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	国際共著 - 4 . 巻
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 清水文枝	無 国際共著 - 4.巻 88号
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 清水文枝 2 . 論文標題	無 国際共著 - 4.巻 88号 5.発行年
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 清水文枝	無 国際共著 - 4.巻 88号
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 清水文枝 2 . 論文標題 アメリカの対アジア戦略再検討 フォード政権期におけるアジアと対フィリピン政策	無 国際共著 - 4.巻 88号 5.発行年 2018年
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 清水文枝 2 . 論文標題 アメリカの対アジア戦略再検討 フォード政権期におけるアジアと対フィリピン政策 3 . 雑誌名	無 国際共著 - 4 . 巻 88号 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 清水文枝 2 . 論文標題 アメリカの対アジア戦略再検討 フォード政権期におけるアジアと対フィリピン政策	無 国際共著 - 4.巻 88号 5.発行年 2018年
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 清水文枝 2 . 論文標題 アメリカの対アジア戦略再検討 フォード政権期におけるアジアと対フィリピン政策 3 . 雑誌名	無 国際共著 - 4 . 巻 88号 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 清水文枝 2 . 論文標題 アメリカの対アジア戦略再検討 フォード政権期におけるアジアと対フィリピン政策 3 . 雑誌名 国際情勢紀要	無 国際共著 - 4 . 巻 88号 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 159 - 168
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 清水文枝 2 . 論文標題 アメリカの対アジア戦略再検討 フォード政権期におけるアジアと対フィリピン政策 3 . 雑誌名 国際情勢紀要	無 国際共著 - 4 . 巻 88号 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 159 - 168
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 清水文枝 2 . 論文標題 アメリカの対アジア戦略再検討 フォード政権期におけるアジアと対フィリピン政策 3 . 雑誌名 国際情勢紀要	無 国際共著 - 4 . 巻 88号 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 159 - 168
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 清水文枝 2 . 論文標題 アメリカの対アジア戦略再検討 フォード政権期におけるアジアと対フィリピン政策 3 . 雑誌名 国際情勢紀要	無 国際共著 - 4 . 巻 88号 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 159 - 168
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 清水文枝 2 . 論文標題 アメリカの対アジア戦略再検討 フォード政権期におけるアジアと対フィリピン政策 3 . 雑誌名 国際情勢紀要	無 国際共著 - 4 . 巻 88号 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 159 - 168

4 \$40	A **
1. 著者名	4.巻_
清水文枝	第90号
2.論文標題	5 . 発行年
米軍基地をめぐる戦略的関係の構築 在比米軍基地協定改定交渉1977-1978	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
国際情勢紀要	197~206
四际间势机女	197 ~ 200
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
なし	有
+	同咖井茶
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	T
1.著者名	4 . 巻
清水文枝	2019年11月
2 . 論文標題	5.発行年
Autonomy and military bases: USAF Thule Base in Greenland as the study case	2019年
natonomy and military bases. Com Thate base in Oreemand as the Study case	2010—
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Arctic Yearbook 2019	表記なし
Arctic fearbook 2019	衣記なり
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	 査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1.著者名	4 . 巻
鈴藤 麻里菜(研究協力者)	65巻10号
2.論文標題	5 . 発行年
ASEANと中国の50年	2017年
, de la Caracia	2017 1
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
海外事情	89-101
	89-101
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
なし	有
オープンアクセス	
	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
	国際共著
1 . 著者名	国際共著
	国際共著
1.著者名 吉野文雄	国際共著 - 4.巻 65巻7.8号
1.著者名 吉野文雄 2.論文標題	国際共著 - 4 . 巻 65巻7.8号 5 . 発行年
1.著者名 吉野文雄	国際共著 - 4.巻 65巻7.8号
1 . 著者名 吉野文雄 2 . 論文標題 トランプ政権と東南アジア	国際共著 - 4 . 巻 65巻7.8号 5 . 発行年 2017年
1.著者名 吉野文雄 2.論文標題	国際共著 - 4 . 巻 65巻7.8号 5 . 発行年
1.著者名 吉野文雄 2.論文標題 トランプ政権と東南アジア 3.雑誌名	国際共著 - 4 . 巻 65巻7.8号 5 . 発行年 2017年
1 . 著者名 吉野文雄 2 . 論文標題 トランプ政権と東南アジア	国際共著 - 4 . 巻 65巻7.8号 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁
1.著者名 吉野文雄 2.論文標題 トランプ政権と東南アジア 3.雑誌名	国際共著 - 4 . 巻 65巻7.8号 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁
1. 著者名 吉野文雄 2. 論文標題 トランプ政権と東南アジア 3. 雑誌名 海外事情	国際共著 - 4 . 巻 65巻7.8号 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 1-14
1 . 著者名 吉野文雄 2 . 論文標題 トランプ政権と東南アジア 3 . 雑誌名 海外事情 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	国際共著 - 4 . 巻 65巻7.8号 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 1-14 査読の有無
1.著者名 吉野文雄 2.論文標題 トランプ政権と東南アジア 3.雑誌名 海外事情	国際共著 - 4 . 巻 65巻7.8号 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 1-14
1 . 著者名 吉野文雄 2 . 論文標題 トランプ政権と東南アジア 3 . 雑誌名 海外事情 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	国際共著 - 4 . 巻 65巻7.8号 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 1-14 査読の有無
1 . 著者名 吉野文雄 2 . 論文標題 トランプ政権と東南アジア 3 . 雑誌名 海外事情 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	国際共著 - 4 . 巻 65巻7.8号 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 1-14 査読の有無

│ 1.著者名	4.巻
吉野文雄	65巻10号
2 . 論文標題	5 . 発行年
中国企業の東南アジア進出	2017年
中国正来の末円ナンチ 連山	2017-
つ 地社々	6.最初と最後の頁
3.雑誌名	
海外事情	74-88
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
3 JOY JENCING VI NIGHT	
1 #40	1 2 2
1 . 著者名	4 . 巻
吉野文雄	66巻1号
2.論文標題	5.発行年
ベトナムの対中国経済依存 - 貿易と投資から	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
	1-14
海外事情	1-14
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	_
13 JJJ J EXCENSIVA XIII J J J J EXTINEE	
1.著者名	4 . 巻
	_
吉野文雄	88巻
2 . 論文標題	5.発行年
ベトナムの対中国経済依存 - 貿易と投資から	2017年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
国際情勢紀要(世界政経調査会 国際情勢研究所)	59-168
国际情分心女(こが以注明直入 国际情分析)(111)	33-100
 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	本芸の左伽
	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	•
1.著者名	4 . 巻
	4 . 含 88巻
吉野文雄	00살
0 40-2-1-0-1	
2 . 論文標題	5 . 発行年
2 . 論文標題 ベトナムの対中国経済依存 - 貿易と投資から	5 . 発行年 2017年
ベトナムの対中国経済依存 - 貿易と投資から	2017年
ベトナムの対中国経済依存 - 貿易と投資から 3 . 雑誌名	2017年 6 . 最初と最後の頁
ベトナムの対中国経済依存 - 貿易と投資から	2017年
ベトナムの対中国経済依存 - 貿易と投資から 3 . 雑誌名	2017年 6 . 最初と最後の頁
ベトナムの対中国経済依存 - 貿易と投資から 3 . 雑誌名 国際情勢紀要(世界政経調査会 国際情勢研究所)	2017年 6 . 最初と最後の頁 59-168
ベトナムの対中国経済依存 - 貿易と投資から 3.雑誌名 国際情勢紀要(世界政経調査会 国際情勢研究所) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2017年 6.最初と最後の頁 59-168 査読の有無
ベトナムの対中国経済依存 - 貿易と投資から 3 . 雑誌名 国際情勢紀要(世界政経調査会 国際情勢研究所)	2017年 6 . 最初と最後の頁 59-168
ベトナムの対中国経済依存 - 貿易と投資から 3 . 雑誌名 国際情勢紀要(世界政経調査会 国際情勢研究所) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	2017年 6.最初と最後の頁 59-168 査読の有無 無
ベトナムの対中国経済依存 - 貿易と投資から 3 . 雑誌名 国際情勢紀要(世界政経調査会 国際情勢研究所) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	2017年 6.最初と最後の頁 59-168 査読の有無
ベトナムの対中国経済依存 - 貿易と投資から 3 . 雑誌名 国際情勢紀要(世界政経調査会 国際情勢研究所) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	2017年 6.最初と最後の頁 59-168 査読の有無 無

〔学会発表〕 計35件(うち招待講演 0件/うち国際学会 17件)
1.発表者名 浅野亮
2 . 発表標題 「一帯一路」が目指すユーラシアの秩序ー「中華秩序」への路程?
3 . 学会等名 グローバル・ガバナンス学会
4 . 発表年 2018年
1 . 発表者名 浅野亮
2.発表標題 INF条約の失効と中国:国際安全保障へのインプリケーション
3 . 学会等名 国際安全保障学会(部会 1 「INF条約の失効が国際安全保障に与えるインパクト」)
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 井上浩子
2 . 発表標題 誰がネイションを代表するのか:現代東ティモールにおける国家構築の政治化 (Who Represents the Nation?: Understanding politicization of State-building in Contemporary Timor-Leste)
3 . 学会等名 東南アジア学会(第99回 研究大会)
4.発表年 2018年
1 . 発表者名 稲田十一
2 . 発表標題 The Impact of Chinese Aid and the "Beijing Consensus": A Case of Cambodia and its Implications to ASEAN
3 . 学会等名 東南アジア日本研究学会(Japanese Studies Association in Southeast Asia)(国際学会)
4 . 発表年 2018年

1.発表者名
小笠原高雪
インド太平洋地域における海洋秩序構築の問題と展望(討論者として報告)
2
3.学会等名 アジア政経学会 春季大会(国際関係と安全保障」分科会)
4 · 光农中 2018年
1 改主 2 夕
1 . 発表者名 小笠原高雪 小笠原
2.発表標題 Japan, Southeast Asia and Vietnam
Sapari, Southeast Asia and Vietnam
3. 学会等名
東南アジア日本研究学会 (Japanese Studies Association in Southeast Asia) (国際学会)
4 . 発表年
2018年
1. 発表者名
小笠原高雪
ベトナムの安全保障と対米対中外交
3.学会等名
アジア政経学会 春季大会(「一帯一路と東南アジア」分科会、慶應義塾大学:2019年6月8日)
4.発表年
2019年
1.発表者名
平川幸子
2 及主価時
2 . 発表標題 中国イニシアチブの発展過程
3 . 学会等名 グローバル・ガバナンス学会 (共通論題「ユーラシアの制度構築をめぐる考察」)
4 . 発表年 2018年
2010 T

1 . 発表者名 平川幸子
T/川十丁
2.発表標題
Japan-ASEAN Cooperation in the Free and Open Indo-Pacific Strateg
3.学会等名
暨南大学国際関係学院講演会(国際学会)
4.発表年
2018年
1.発表者名
平川幸子
2. 発表標題 Five station for the China Japan Karas Comparation
Expectation for the China-Japan-Korea Cooperation
8th East Asian Community Forum(清華大学国際関係学院Institute of Global Development)(国際学会)
4 . 完衣牛 2018年
1.発表者名 - 双川表之
平川幸子
Maintaining Liberal Regional Order: Japan's approaches to ASEAN and Taiwan in the Indo-Pacific Strategy
3.学会等名
14th Anniversary Memorial International Conference(台湾・淡江大學國際事務與戰略研究所)(国際学会)
2018年
1.発表者名
T. R. K. G.
2.発表標題
Emerging Norms Competition in Asian Multilateralism: Rethinking Roles of ASEAN
3.字伝寺名 東南アジア日本研究学会(Japanese Studies Association in Southeast Asia)(国際学会)
4. 発表年 2018年

1 . 発表者名
平川幸子
2 . 発表標題
Japan's Perspective on FOIP(S): Formation toward "International Public Goods
3.学会等名
KAIS Annual Conference, The Korean Association of International Studies (ソウル、国立外交院:2019年12月13日) (国際学会)
4 . 発表年
2019年
2010-
1.発表者名
福田保
1曲口床
2.発表標題
Z . 9677 (标题 The Effects of Competitive Major-Power Initiatives on Regional Multilateralism: Implications for ASEAN Centrality
The Effects of Competitive Major-Power initiatives on Regional Multifateralism. Implications for ASEAN Centrality
3.学会等名
東南アジア日本研究学会(Japanese Studies Association in Southeast Asia)(国際学会)
4 Bet
4 . 発表年
2018年
4
1 . 発表者名
福田保
2.発表標題
米中対峙下におけるアジア太平洋多国間制度
3 . 学会等名
アジア政経学会 春季大会 (慶応義塾大学:2019年6月8日)
4.発表年
2019年
1.発表者名
山田満
2 . 発表標題
The Prospects of Non-traditional Security Cooperation in Southeast Asia
and the person of the state of
3 . 学会等名
東南アジア日本研究学会 (Japanese Studies Association in Southeast Asia) (国際学会)
THE POST OF A Companions of dates Association in Continuation (EMPA)
4 . 発表年
2018年

1. 発表者名
吉野文雄
China's Economic Influence on Southeast Asia: A Comparison with Japan's
Silling & Estimate Attraction of Contribute Notal A Compartion with Cupul C
3.学会等名
東南アジア日本研究学会(Japanese Studies Association in Southeast Asia)(国際学会)
4.発表年
2018年
1. 発表者名
黒柳米司
2 : সংযক্ষিত্র Three Paradoxes of the "ASEAN Way" as a Regional Norm: A Japanese View
THE CHARACTER OF THE ACENT May as a Regional Norm. A departed view
3.学会等名
東南アジア日本研究学会(Japanese Studies Association in Southeast Asia)(国際学会)
4 . 発表年
2018年
1.発表者名
阿部和美
্বি সংগ্ৰাজন্ত Japan-Indonesia Relationsin Post-Reformasi : From perspective of Japan's ODA
Japan-Hiddiesta ketationsin rost-ketorimasi . Prom perspective of Japan S obk
3 . 学会等名
東南アジア日本研究学会(Japanese Studies Association in Southeast Asia)(国際学会)
4 . 発表年
2018年
1.発表者名
阿部和美
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
2.発表標題 ポスト接ば工業体制エインドラシアにおけるパプア公離独立運動の行方。三極化する運動
ポスト権威主義体制下インドネシアにおけるパプア分離独立運動の行方 二極化する運動
3. デスサロ 国際政治学会 研究大会 (2019年10月20日)
The second of th
4 . 発表年
2019年

1. 発表者名
阿部和美
2.発表標題
The Obstacle to Peace in Papua: How to secure freedom from fear for the Papuan people
3. 学会等名
アジア未来会議(第5回:2020年1月11日)(国際学会)
4.発表年
2020年
1. 発表者名
清水文枝
2
2.発表標題 Pathinking US Stratogy in Southeast Asia: The Bala of US Japan Alliance and US Dhilinging Alliance
Rethinking US Strategy in Southeast Asia: The Role of US-Japan Alliance and US-Philippine Alliance
3.学会等名
東南アジア日本研究学会 (Japanese Studies Association in Southeast Asia) (国際学会)
NAMES OF TAXABLE PARTIES OF TAXA
4 . 発表年
2018年
1.発表者名
浅野 亮
- TV ab 19 DT
2.発表標題
米中対峙下におけるアジア太平洋秩序の変容と中国
3.学会等名
アジア政経学会(於 一橋大学:2017年6月25日)
4 . 発表年
2017年
1.発表者名
金子芳樹
2.発表標題
不確実性下で揺れる東南アジア 国内政治と地域統合の新たな分岐点
3.学会等名
フ・チスサロ アジア政経学会(一橋大学:2017年 6 月24日)
4 . 発表年
2017年

4 75 = 74 7
1 . 発表者名 金子芳樹
亚 J /J 词
2 . 発表標題
ASEAN創立50年 - その成果と対中対峙時代の「中国傾斜」
3 . 子云寺石 霞山会講演会(霞山会館:2017年7月27日)
度山云뼈,灰云(度山云皓 . 2011 午1721 口)
2017年
1.発表者名
平川幸子
2 . 発表標題
アジア太平洋のリベラルな地域秩序 - ASEANと台湾に光を
アジア政経学会(一橋大学: 2017年 6 月24日)
4.発表年
2017年
1.発表者名
平川幸子
ここれでは 中国のエネルギー戦略と地域主義外交 - 「一帯一路」のモデルとしての中央アジア
「日のエコルト 祝品Cとの本義/人文 III 出」のとうがことにの「ステンテ
3 . 学会等名
国際政治学会(神戸国際会議場:2017年10月29日)
4. 発表年
2017年
1.発表者名
門마세종
2.発表標題
新しい大統領によるパプア問題への取り組み
3 . 子云寺石 アジア政経学会(一橋大学:2017年 6 月24日)
アファ以社士云(^一 個八子・2011年 0 月24日 <i>)</i>
2017年

1.発表者名
鈴藤 麻里菜
2 . 発表標題
ASEANの保健衛生向上改革
3.学会等名
アジア政経学会(一橋大学:2017年 6 月24日)
4 . 発表年
2017年
1.発表者名
吉野文雄
2. 発表標題
中国企業の東南アジア進出 - 日本企業との比較
3.学会等名
アジア経営学会 全国大会(東北大学:2017年9月9日)
, District
4.発表年
2017年
1.発表者名
伊藤 晋
2 . 発表標題
インドネシアにおけるPPP(官民連携)インフラ整備の課題
「フーヤン」に切りる・・・(日氏圧防)「フラフ正備の脈丛
2 24420
3.学会等名
アジア政経学会(南山大学:2019年11月30日)
4. 発表年
2019年
1.発表者名
伊藤晋
V 18-7 FG
2 . 発表標題
The Changing Dynamics of Development Cooperation in Times of Uncertainty
- **AMG
3.学会等名
International Conference: Japan in a State of Uncertainty (De La Salle University(フィリピン):2019年11月16日)(国際学
숲)
4.発表年
2019年

1.発表者名 伊藤 晋	
2.発表標題 Dutertenomics: Challenges for Financing Aspect of Infrastructure Development in the Philippines	
3.学会等名	
10th Conference of European Association for Southeast Asian Studies(Humboldt University(ドイツ学会)	ソ):2019年9月11日))(国際
4. 発表年	
2019年	
1.発表者名 伊藤 晋	
2. 発表標題 Private Sector Investment in Infrastructure in the Philippines: Business Opportunities and Issu Partnerships	es for Public-Private
3.学会等名 15th Conference of International Federation of East Asian Management Associations(京都大学:20	19年6月19日)(国際学会)
4 . 発表年 2019年	
1.発表者名 伊藤 晋	
2.発表標題 フィリピンにおけるインフラ・ビジネス:PPP政策の変容と今後の課題	
3.学会等名 アジア経営学会(第26回東部部会:明治大学:2019年4月13日)	
4 . 発表年 2019年	
〔図書〕 計21件	
1.著者名 金子芳樹、山田満、吉野文雄(編著)、浅野亮、福田保、平川幸子、黒柳米司、稲田十一、小笠原高雪、 工藤年博、井上浩子(執筆)	4 . 発行年 2020年
2. 出版社明石書店	5.総ページ数 ²⁸¹
3.書名 「一帯一路」時代のASEAN-中国傾斜のなかで分裂・分断にむかうのか	

4 520	4 367-F
1.著者名	4 . 発行年
稲田十一、木村宏恒、小山田英治、金丸裕志、杉浦功一(編著)	2018年
2.出版社	5.総ページ数
2 . 山城社 明石書店	5 . 総ペーン数 296
桁'님티/口 	250
3.書名	
3 · 6 ロ	
所力は大日子 と子づけたののの「III	
	1
1.著者名	4.発行年
金子芳樹、山田満(分担執筆:清水一史、田村慶子、横山豪志編)	2018年
2.出版社	5.総ページ数
ミネルヴァ書房	330
3.書名	
東南アジア現代政治入門[改訂版] (金子芳樹「プルネイー現代における絶対君主制国家の安定と改革」、	
山田満「東ティモール 21世紀最初の独立国家」)	
1.著者名	4.発行年
金子芳樹(編著)	2019年
1	
2 WF574	ロー 4分 ペーニングボヤ
2.出版社	5.総ページ数
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5.総ページ数 ³⁷⁶
ミネルヴァ書房	
ミネルヴァ書房 3 . 書名	
ミネルヴァ書房 3 . 書名 現代の国際政治[第4版](金子芳樹「東南アジアの地域秩序形成ーグローバル化と米中対峙がもたらす	
ミネルヴァ書房 3 . 書名	
ミネルヴァ書房 3 . 書名 現代の国際政治[第4版](金子芳樹「東南アジアの地域秩序形成ーグローバル化と米中対峙がもたらす	
ミネルヴァ書房 3 . 書名 現代の国際政治[第4版](金子芳樹「東南アジアの地域秩序形成ーグローバル化と米中対峙がもたらす	
ミネルヴァ書房 3 . 書名 現代の国際政治[第4版](金子芳樹「東南アジアの地域秩序形成ーグローバル化と米中対峙がもたらす	
3.書名 現代の国際政治[第4版](金子芳樹「東南アジアの地域秩序形成ーグローバル化と米中対峙がもたらす 試練」)	376
3.書名 現代の国際政治[第4版](金子芳樹「東南アジアの地域秩序形成ーグローバル化と米中対峙がもたらす 試練」) 1.著者名	
3.書名 現代の国際政治[第4版](金子芳樹「東南アジアの地域秩序形成ーグローバル化と米中対峙がもたらす 試練」)	376
3.書名 現代の国際政治[第4版](金子芳樹「東南アジアの地域秩序形成ーグローバル化と米中対峙がもたらす 試練」) 1.著者名	376
3.書名 現代の国際政治[第4版](金子芳樹「東南アジアの地域秩序形成ーグローバル化と米中対峙がもたらす 試練」) 1.著者名	376
3.書名 現代の国際政治[第4版](金子芳樹「東南アジアの地域秩序形成ーグローバル化と米中対峙がもたらす 試練」) 1.著者名	376
ミネルヴァ書房 3.書名 現代の国際政治 [第4版] (金子芳樹「東南アジアの地域秩序形成ーグローバル化と米中対峙がもたらす試練」) 1.著者名 工藤年博(分担執筆: Yusuke Takagi, Veerayooth Kanchoochat and Tetsushi Sonobe ed.)	376 4.発行年 2019年
ミネルヴァ書房 3.書名 現代の国際政治[第4版](金子芳樹「東南アジアの地域秩序形成ーグローパル化と米中対峙がもたらす 試練」) 1.著者名 工藤年博(分担執筆: Yusuke Takagi, Veerayooth Kanchoochat and Tetsushi Sonobe ed.) 2.出版社	376 4 . 発行年 2019年 5 . 総ページ数
3.書名 現代の国際政治[第4版](金子芳樹「東南アジアの地域秩序形成ーグローバル化と米中対峙がもたらす試練」) 1.著者名 工藤年博(分担執筆:Yusuke Takagi, Veerayooth Kanchoochat and Tetsushi Sonobe ed.) 2.出版社 Springer	376 4 . 発行年 2019年 5 . 総ページ数
ミネルヴァ書房 3.書名 現代の国際政治[第4版](金子芳樹「東南アジアの地域秩序形成ーグローパル化と米中対峙がもたらす 試練」) 1.著者名 工藤年博(分担執筆: Yusuke Takagi, Veerayooth Kanchoochat and Tetsushi Sonobe ed.) 2.出版社	376 4 . 発行年 2019年 5 . 総ページ数
3 . 書名 現代の国際政治[第4版](金子芳樹「東南アジアの地域秩序形成ーグローバル化と米中対峙がもたらす試練」) 1 . 著者名 工藤年博(分担執筆: Yusuke Takagi, Veerayooth Kanchoochat and Tetsushi Sonobe ed.) 2 . 出版社 Springer 3 . 書名 Developmental State Building: The Politics of Emerging Economies(工藤年博、熊谷聡「Development	376 4 . 発行年 2019年 5 . 総ページ数 185
ミネルヴァ書房 3.書名 現代の国際政治[第4版](金子芳樹「東南アジアの地域秩序形成ーグローバル化と米中対峙がもたらす試練」) 1.著者名 工藤年博(分担執筆: Yusuke Takagi, Veerayooth Kanchoochat and Tetsushi Sonobe ed.) 2.出版社 Springer 3.書名	376 4 . 発行年 2019年 5 . 総ページ数 185
3 . 書名 現代の国際政治[第4版](金子芳樹「東南アジアの地域秩序形成ーグローバル化と米中対峙がもたらす試練」) 1 . 著者名 工藤年博(分担執筆: Yusuke Takagi, Veerayooth Kanchoochat and Tetsushi Sonobe ed.) 2 . 出版社 Springer 3 . 書名 Developmental State Building: The Politics of Emerging Economies(工藤年博、熊谷聡「Development	376 4 . 発行年 2019年 5 . 総ページ数 185
3 . 書名 現代の国際政治[第4版](金子芳樹「東南アジアの地域秩序形成ーグローバル化と米中対峙がもたらす試練」) 1 . 著者名 工藤年博(分担執筆: Yusuke Takagi, Veerayooth Kanchoochat and Tetsushi Sonobe ed.) 2 . 出版社 Springer 3 . 書名 Developmental State Building: The Politics of Emerging Economies(工藤年博、熊谷聡「Development	376 4 . 発行年 2019年 5 . 総ページ数 185
3 . 書名 現代の国際政治[第4版](金子芳樹「東南アジアの地域秩序形成ーグローバル化と米中対峙がもたらす試練」) 1 . 著者名 工藤年博(分担執筆: Yusuke Takagi, Veerayooth Kanchoochat and Tetsushi Sonobe ed.) 2 . 出版社 Springer 3 . 書名 Developmental State Building: The Politics of Emerging Economies(工藤年博、熊谷聡「Development	376 4 . 発行年 2019年 5 . 総ページ数 185

1 . 著者名	4 . 発行年
平川幸子(分担執筆:中国研究所編)	2018年
2.出版社	5 . 総ページ数
2 . 出版社 明石書店	5.総ペーシ数 510
ᄞᄔᄅᄱ	V.0
3.書名	
中国年鑑2018(分担執筆:平川幸子「動向台湾」)	
,	
1 . 著者名	4 . 発行年
山田満	2018年
2 中版社	□
2.出版社 明石書店	5 . 総ページ数 368
明石書店	368
3 . 書名	
3 . 責任	
ALL CA TEST ON TO THE F EVENT AND T	
1 . 著者名	4 . 発行年
山田満(編著)、阿部和美(分担執筆)	2018年
2 中版対	□
2. 出版社	5 . 総ページ数 234
Union Press	ZU Y
3.書名	
Complex Emergenices and Humintarin Response	
,	
	- av./= -
1 . 著者名	4 . 発行年
山田満(共編著)	2020年
2.出版社	5 . 総ページ数
文真堂	5 . 総ペーン数 282
ヘスキ	
3 . 書名	
アジアダイナミズムとベトナム	

1.著者名 山田満、阿部和美(共著:多賀秀敏編)	4 . 発行年 2020年
2 . 出版社 成文堂	5 . 総ページ数 386
3.書名 平和学から世界を見る	
1 . 著者名	4.発行年
キショール・マブバニ、ジェフェリー・スン(著)、黒柳米司(訳)	2018年
2.出版社	5.総ページ数
2 · 山城社 新日本出版社	3 . AiOハーシ女X 296
3 . 書名	
ASEANの奇跡ー平和の生態系	
1.著者名 清水文枝(編著)	4 . 発行年 2019年
2.出版社	5.総ページ数
Springer	-
3.書名 The Political Dynamics and Impacts Surrounding Subic Naval Bases in the Philippines	
The Fortitical byliamites and impacts our founding subject wavar bases in the first ppines	
1 . 著者名	4.発行年
稲田十一	2017年
2. 出版社 明石書店	5 . 総ページ数 ²²⁸
つ 事々	
3 . 書名 社会調査からみる途上国開発 - アジア6カ国の社会変容の実像	

1 . 著者名 小笠原高雪(分担執筆:山梨学院大学政治行政研究会編)	4 . 発行年 2017年
2.出版社 公人の友社	5.総ページ数 309
3.書名 政治行政入門 新版(小笠原降雪「国際政治の舞台」「日本の安全保障政策」)	
1 . 著者名 金子芳樹、山田満(分担執筆:清水一史・田村慶子・横山豪志編)	4 . 発行年 2017年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5.総ページ数 330
3.書名 東南アジア現代政治入門(改訂版)(金子芳樹「ブルネイ 現在における絶対君主制国家の安定と改革」、山田満「東ティモール 21世紀最初の独立国家」)	
1.著者名 福田保(編)	4 . 発行年 2018年
2.出版社 春風社	5.総ページ数 ²⁹³
3.書名 アジアの国際関係-移行期の地域秩序	
1.著者名 福田保(分担執筆:西原正監修・平和安全保障問題研究所編)	4 . 発行年 2017年
2. 出版社 朝雲新聞社	5.総ページ数 300
3.書名 年報 アジアの安全保 障2017-2018(福田保「東南アジア」)	

日・高名名 福田保(分担執章:鈴木茂・西野真由蟾) 日・黒原注 カニカス		
第名名 3. 重名 現代アジア学入門(福田保「南シナ海問題と米国の外交政策」) 1. 著名名 井上浩子(分担執筆:アジア経済研究所錄) 4. 発行年 2017年 2. 出版社 アジア経済研究所 5. 総ページ数 620 3. 書名 アジア動向年報2017(井上浩子「2017年のティモール・レステ:FRETILIN=民主党政権の発足と野党連合 との攻防」 4. 飛行年 2017年 1. 著名名 黒棚米司(分担執筆:Gilbert Rozman and Josephn Chinyong Liow, ed) 4. 飛行年 2017年 2. 出版社 Asan-Pal rave Mcmillan Series 5. 総ページ数 372 3. 書名 平川幸子(分担執筆:報垣文昭信か蟾) 4. 飛行年 2020年 1. 著名名 平川幸子(分担執筆:報垣文昭信か蟾) 4. 飛行年 2020年 2. 出版社 法律文化社 5. 総ページ数 170		
現代アジア学入門(福田保「南シナ海問題と米国の外交政策」) 1 著名名 井上浩子(分担執筆:アジア経済研究所織) 2 出版社 アジア経済研究所 3 番名 アジア動向年報2017 (井上浩子「2017年のティモール・レステ:FRETILIN=民主党政権の発足と野党連合 との攻防」 1 著名名 黒柳米司(分担執筆:Gilbert Roznan and Josephn Chinyong Liow, ed) 2 出版社 Asan-Palrave Mcmillan Series 3 書名 International Relations and Asia's Southern Tier: ASEAN, Australia, and India (Yoneji Kuroyanagi, "The US-China-Japan Triangle and the Concept of "ASEAN Centrality": Myth or Reality?") 1 著名名 平川李子(分担執筆:福垣文昭ほか精) 4 発行年 2020年 1 著名名 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	芦書房	
井上浩子(分担執筆: アジア経済研究所編) 2017年 2. 出版社 アジア観済研究所 5. 幾ページ数 620 3. 書名 アジア動向年報2017(井上浩子「2017年のティモール・レステ: FRETILIN = 民主党政権の発足と野党連合 との攻防」 4. 発行年 2017年 2. 出版社 Asan-Palrave Mcmillan Series 5. 総ページ数 372 3. 書名 International Relations and Asia's Southern Tier: ASEAN, Australia, and India (Yoneji Kuroyanagi, "The US-China-Japan Triangle and the Concept of "ASEAN Centrality": Myth or Reality?") 4. 発行年 2020年 1. 著者名 平川幸子(分担執筆: 稲垣文昭ほか編) 4. 発行年 2020年 2. 出版社 法律文化社 5. 幾ページ数 170 3. 書名 資源地政学 グローバル・エネルギー競争と戦略的パートナーシップ(平川幸子「中国モデルの『エネル		
### 3. 書名 ### 3. まるとのでは、 ### 4. まるとのでは、 ###	井上浩子(分担執筆:アジア経済研究所編)	2017年
アジア動向年報2017 (井上浩子「2017年のティモール・レステ: FRETILIN = 民主党政権の発足と野党連合との攻防」	アジア経済研究所	
黒柳米司(分担執筆:Gilbert Rozman and Josephn Chinyong Liow, ed) 2 . 出版社 Asan-Palrave Mcmillan Series 3 . 書名 International Relations and Asia's Southern Tier: ASEAN, Australia, and India (Yoneji Kuroyanagi, "The US-China-Japan Triangle and the Concept of "ASEAN Centrality": Myth or Reality?") 1 . 著者名 平川幸子(分担執筆:稲垣文昭ほか編) 4 . 発行年 2020年 2 . 出版社 法律文化社 5 . 総ページ数 170	アジア動向年報2017(井上浩子「2017年のティモール・レステ:FRETILIN = 民主党政権の発足と野党連合	
Asan-Palrave Mcmillan Series 3.書名 International Relations and Asia's Southern Tier: ASEAN, Australia, and India (Yoneji Kuroyanagi, "The US-China-Japan Triangle and the Concept of "ASEAN Centrality": Myth or Reality?") 1.著者名 平川幸子(分担執筆:稲垣文昭ほか編) 2.出版社 法律文化社 3.書名 資源地政学 グローバル・エネルギー競争と戦略的パートナーシップ(平川幸子「中国モデルの『エネル	黒柳米司(分担執筆:Gilbert Rozman and Josephn Chinyong Liow, ed)	
International Relations and Asia's Southern Tier: ASEAN, Australia, and India (Yoneji Kuroyanagi, "The US-China-Japan Triangle and the Concept of "ASEAN Centrality": Myth or Reality?") 1 . 著者名 平川幸子(分担執筆:稲垣文昭ほか編) 2 . 出版社 法律文化社 3 . 書名 資源地政学 グローバル・エネルギー競争と戦略的パートナーシップ(平川幸子「中国モデルの『エネル	Asan-Palrave Mcmillan Series	
平川幸子(分担執筆:稲垣文昭ほか編) 2 . 出版社 法律文化社 3 . 書名 資源地政学 グローバル・エネルギー競争と戦略的パートナーシップ(平川幸子「中国モデルの『エネル	International Relations and Asia's Southern Tier: ASEAN, Australia, and India (Yoneji Kuroyanagi , "The US-China-Japan Triangle and the Concept of "ASEAN Centrality": Myth or	
法律文化社	平川幸子(分担執筆:稲垣文昭ほか編)	2020年
資源地政学 グローバル・エネルギー競争と戦略的パートナーシップ(平川幸子「中国モデルの『エネル	法律文化社	
	資源地政学 グローバル・エネルギー競争と戦略的パートナーシップ(平川幸子「中国モデルの『エネル	

〔産業財産権〕

〔その他〕

_

6 . 研究組織

6	. 研究組織		
	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
	浅野 亮	同志社大学・法学部・教授	
研			
究八	(Angelo Bur)		
研究分担者	(Asano Ryo)		
者			
	(10212490)	(34310)	
	井上 浩子	大東文化大学・法学部・准教授	
ъĦ			
研究分担者			
担	(Inoue Hiroko)		
者			
	(20758479)	(32636)	
	工藤 年博	政策研究大学院大学・政策研究科・教授	
和			
研究分担者	/// I = I ··· ·		
分 担	(Kudo Toshihiro)		
者			
	(30450498)	(12703)	
	稲田 十一	専修大学・経済学部・教授	
和			
研究分担者			
担	(Inada juichi)		
者			
	(50223219)	(32634)	
	小笠原 高雪	山梨学院大学・法学部・教授	
研			
研究分担者	(Oncomero Tokovulci)		
担	(Ogasawara Takayuki)		
百			
	(50247467)	(33402)	
	山田満	早稲田大学・社会科学総合学術院・教授	
研			
究分	(Yamada Mitsuru)		
研究分担者	(ramada mrtoura)		
19			
	(50279303)	(32689)	
	平川 幸子	早稲田大学・留学センター・准教授(任期付)	
研			
研究分担者	(Hirakawa Sachiko)		
担	(mranawa baomino)		
有			
	(80570176)	(32689)	
	吉野 文雄	拓殖大学・国際学部・教授	
研			
究分	(Yoshino Fumio)		
研究分担者	(103iiiii0 i diii10)		
有			
	(90220706)	(32638)	

6.研究組織(つづき)

	・ 切力組織 (フフさ)		
	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
	福田保	東洋英和女学院大学・国際社会学部・准教授	
研究分担者	(Fukuda Tamotsu)		
	(90511105)	(32718)	

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	黒柳 米司 (Kuroyanagi Yoneji)		
研究協力者	伊藤 晋 (Ito Susumu)		
研究協力者	清水 文枝 (Shimizu Ayae)		
研究協力者	阿部 和美 (Abe Azumi)		
研究協力者	鈴藤 麻里菜 (Suzutou Marina)		

7.科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計1件

l 国除研究集会 J 訂7件		
国際研究集会	開催年	
The 6th JSA-ASEAN Conference 2018 "Global Dynamics Impacts to JAPAN-ASEAN	2018年~2018年	
Relations" in Jakarta, a biennial conference organized by the Japanese Studies		
Association in Southeast Asia(JSA-ASEAN)		

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------